



心に響く合唱

リズムとハーモニーは

魂の奥深くまでたどり着く

プラトン/哲学者

福井市中学校連合音楽会で大合唱♪

- 連合音楽会では、誰一人手を抜くことなく、歌い切ることができたので、聞いている人の心に響く音楽を創り上げられたと思います。この連合音楽会で築き上げた3年生の団結力をこれからの学校生活でいかしていきたいです。(ソプラノ)
- フェニックスプラザへ行くのは小学校も含めて二回目でした。でも、小学校の時と違うのは、一校一校の迫力がすごいということです。男子は声変わりした低い声、女子は大人びた綺麗な歌声で、今までの努力、そして自信が溢れて伝わってきました。そして自分たち、足羽中の番、ステージに登った途端、みんな真剣に聴こうとする姿勢、視線がすごく、足が震えました。でも、緊張ではなく、ワクワクで足が震えていました。歌うとき、「みんなが聴いてくれている!」そんな嬉しさで、自然とずっと笑顔で歌うことができました。そして歌い終わった後の拍手も、聴いてくれたからこそその「すごかったよ」と、褒めてくれるような拍手の感覚で、最初から、最後まで、ワクワクが止まらない連音でした。もう一度、あそこで歌いたいぐらい楽しかったです!!(テノール)
- 私は小さい頃からピアノをやっていたけど、1人で弾くピアノと合唱の伴奏は全く別物で、とても不安でした。伴奏では誤魔化しが効かないし、しっかり弾くことに加え指揮や歌と合わせることも必要です。吹奏楽部で「みんなで創る音楽」は経験していたけど、合唱となると歌と合わせ、みんなを引っ張っていく立場になるので、とても難しく悩んでいました。でも、練習を重ねる度に段々歌とピアノが調和していくように感じて、とても嬉しくて、もっとみんなの声の魅力が際立つような伴奏をしたいと思うようになりました。歌を聞きながらの演奏は本当に難しかったけど、先生や友達が私のピアノを褒めてくれたり、応援してくれたり周りの支えもあって、良い伴奏をすることができました。合唱コンクール、連合音楽会というステージで、「群青」の伴奏ができて本当に楽しかったです!(伴奏者)
- 今回の連音は、みんなが一つにまとまっていてとても良い合唱になったと思いました。バスとテノールは、低い声で迫力がありました。アルトとソプラノは女子ならではの高い声でとても美しかったです。他にも指揮者の滑らかな手の動きとピアノの綺麗な音も良かったです。伴奏も良くて今までで一番良い合唱だと思います。(テノール)



「群青」に心揺さぶられて

連合音楽会において、本校3年生が合唱「群青」を披露しました。この曲は、先日行われた校内合唱コンクールでも発表され、全校生徒や保護者の皆様に大きな感動を届けたものです。

当日は、最上級生らしい堂々たる歌声と表現力で、会場を包み込む素晴らしい演奏となりました。一人ひとりの思いが重なり合い、聞く人の心を強く揺さぶりました。

この合唱の背景には、日々の練習の積み重ねと、よりよい表現を求めて仲間とともに努力してきた過程があります。そうした歩みを思うと、今回の発表はかけがえのない成果であると感じます。

3年生の姿は、後輩たちにとって大きな目標となりました。この感動が学校全体へ広がっていくことを期待しています。

◆ 学校ホームページ

お子様の学校での様子を、足羽中ライブ(ブログ)で紹介したり、行事予定やおたよりを掲載したりしています。ぜひ、ご覧ください。

【本校HP】 <https://asuwa-junior-high-school-fukui.edumap.jp/>

保護者・地域の皆様のお声をお聞かせください。
もちろん、生徒の皆さんも!



■ ご意見・ご感想をお待ちしております。

<https://forms.cloud.microsoft/r/4uGnH2mn6M>